



平成28年1月4日

各 位

会 社 名 ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小 林 武 司  
(コード：2538 東証第二部)  
問合せ先 執行役員 財務計画部長 柚 義 継  
(電話番号 06-6444-5293)

**(訂正)「平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について**

当社は、平成27年11月6日付適時開示「平成27年9月期決算短信の開示時期の遅延並びにこれに係る経緯として当社代表取締役会長への便宜供与に係る疑義に対する独立調査委員会の調査及び当該調査の結果を踏まえたガバナンス体制の検討等に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成25年2月8日付「平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了いたしましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_\_\_\_を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



## 平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 2538 URL http://www.j-fla.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 武司  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務計画部長 (氏名) 杉 義継 (TEL) 06-6444-5293  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績 (平成24年10月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	7,883	1.9	604	29.9	541	27.7	365	111.2
24年9月期第1四半期	7,739	△8.0	465	△25.9	423	△23.4	173	△54.0

(注) 包括利益 25年9月期第1四半期 442百万円(167.7%) 24年9月期第1四半期 165百万円(△50.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	5.65	—
24年9月期第1四半期	2.67	—

(注) 当社は平成25年9月期より会計方針の変更を行ったため、平成24年9月期については当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第1四半期	30,156	8,131	27.0
24年9月期	29,063	7,689	26.5

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 8,131百万円 24年9月期 7,689百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	—	—	0.00	0.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月期の期末配当予想額については、未定であります。

### 3. 平成25年9月期の連結業績予想 (平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,900	1.8	460	△5.9	250	△21.8	50	154.6	0.77
通期	27,000	2.6	680	16.9	260	330.8	50	—	0.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年9月期より会計方針の変更を行ったため、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の対前期、対前年同四半期増減率を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年9月期1Q	68,004,520株	24年9月期	68,004,520株
② 期末自己株式数	25年9月期1Q	3,244,859株	24年9月期	3,244,659株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年9月期1Q	64,759,683株	24年9月期1Q	64,760,583株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・配当については、業績に応じた適正な利益還元を行うことを基本方針とし、企業体質の一層の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実等を勘案して決定しております。現時点においては事業環境に不透明な要因が多いことから配当予想額を未定としておりますが、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内の企業生産活動や個人消費は緩やかに回復傾向にあるものの、欧州の財政不安、日中関係の悪化、デフレの長期化等の懸念される事項も多く、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、既存顧客の深耕、新規顧客・チャネルの開拓、積極的な新商品の導入等を図り、収益力の向上に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,883百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は604百万円(前年同期比29.9%増)、経常利益は541百万円(前年同期比27.7%増)、四半期純利益は365百万円(前年同期比111.2%増)となりました。

また、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計方針の変更)」に記載のとおり、従来、販売費及び一般管理費に計上していた販売促進費の一部について、当第1四半期連結会計期間より、売上高から控除する方法(純額表示)に変更いたしました。なお、当該会計方針の変更は遡及適用され、前年同期増減率については遡及適用後の数値にて記載しております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(食品類・酒類事業)

醤油につきましては、家庭用は主力商品のマルキン忠勇「こいくちしょうゆ1Lペット」を中心に主要ルートでの特売・企画提案を積極的に進めたこと等により売上が増加しました。業務用は、外食市場の低迷や大手取引先の内製化への移行等の影響により売上が減少しました。

つゆ・たれ類につきましては、外食市場の低迷により業務用は不調でしたが、家庭用商品のマルキン忠勇「よせ鍋だし 4倍希釈400ml瓶」「醬の郷小豆島から すきやきのたれ500mlペット」「極淡白だし1Lペット」盛田「すき焼わりした500mlペット」加賀屋醤油「ごまドレッシングゆず果汁入り500mlペット」等が好調に推移したことにより売上が増加しました。

その他調味料につきましては、有機関連の差別化商品である盛田「有機純米料理酒500mlペット」「有機みりんタイプ500mlペット」が堅調に推移したものの、主力商品である盛田「料理酒1Lペット」「醸造みりんタイプ1Lペット」が苦戦したこと等により売上が減少しました。

漬物につきましては、新商品のマルキン忠勇「酒かすで漬けました。」シリーズ(4品)や付加価値商品である「小茄子の辛子漬120g袋」が好調に推移し、またペースト漬物商品が新規開拓により着実に伸ばしたものの、市場の縮小及び低価格化の影響等により売上が減少しました。

飲料につきましては、新商品としてハイピース「アップルシナモンティー350mlペット」「あずき茶ココナッツ350mlペット」を発売し順調に推移しておりますが、PB商品の落ち込み等により売上が減少しました。

酒類につきましては、清酒は、主力商品の盛田「尾張常滑郷の鬼ころし2Lパック」「尾張男山2Lパック」等の経済酒において、販売価格条件の見直し(抑制)をしたこと等により売上が減少しました。清酒以外では、盛田「蔵出し 本みりん1.8Lペット」が新規顧客開拓等により売上が伸びました。

この結果、当事業の売上高は4,283百万円(前年同期比3.9%減)、セグメント利益(営業利益)は177百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

(輸入食品類・酒類販売事業)

業務用食材につきましては、米国産キャビアや和食用加工専門店への鴨肉販売の増加、問屋取引の強化及び婚礼場の開拓等により売上及び利益が大きく増加しました。また、新規需要としてコンビニ商品に高額商品が採用され、さらに新規オープンの都内ホテルやチェーンフレンチレストランの新規店から大口の受注に成功しました。

製菓用食材につきましては、コンビニ用スイーツ市場へのクリームチーズ拡販を目的にした大手洋菓子製造会社の開拓が進みユーザー増加に成功、大手製パンメーカールートも開拓し売上が増加しました。また、洋菓子専門店用のフランス産プレミアムチョコレートを導入し、チョコレートの拡販活動を開始しました。

小売用商品につきましては、主力商品であるボンヌママブランドのジャムは、大手卸店との取組強化により取引店舗数を伸ばしました。また、フランス産「ラ・ペルーシュ」の角砂糖に対して、認知度を高めるために導入した100gパッケージ及びお徳用750gの販促を行い売上を伸ばしました。

ワイン類につきましては、主力商品である「ボランジェ」「シャンソン」「アヤラ」は、円高メリットを活かした販路拡大を行い好調に推移しました。また、積極的に導入を進めてきた中低価格帯商品も順調で、イタリアワイン・チリワインの導入もあり売上が増加しました。

この結果、当事業の売上高は3,231百万円(前年同期比9.1%増)、セグメント利益(営業利益)は285百万円(前年同期比43.2%増)となりました。

(水産品加工販売事業)

㈱イメックスにつきましては、長崎産魚フィレが堅調に推移し、また新商品の海老を使用した加工品が売上を大きく伸ばしました。しかし、主力商品の「ラングスティージュ」は、高級外食市場の低迷等により売上が減少しました。

㈱ブルーゲイツにつきましては、外食・中食チェーンに対する食材・調味料を含めたメニュー企画、商社・大手問屋への商品企画等の一括提案型営業をより一層進めてきたこと等により売上及び利益が増加しました。

この結果、当事業の売上高は360百万円(前年同期比16.3%増)、セグメント利益(営業利益)は8百万円(前年同期比15.8%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金が203百万円減少し、受取手形及び売掛金が1,483百万円増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ1,216百万円増加し、14,667百万円となりました。固定資産は、のれんが70百万円、繰延税金資産が71百万円減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ118百万円減少し、15,481百万円となりました。その結果、総資産は前連結会計年度末に比べ1,093百万円増加し、30,156百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、支払手形及び買掛金が385百万円、短期借入金が175百万円増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ765百万円増加し、19,211百万円となりました。固定負債は、長期借入金が118百万円減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ113百万円減少し、2,814百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純利益365百万円により利益剰余金が増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ442百万円増加し、8,131百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、今後も厳しい状況が続くものと予想しております。このような事業環境の中、既存の食品事業領域における着実な成長と、経営の効率化により財務体質の健全化を図ってまいります。

なお、平成24年11月9日付「平成24年9月期決算短信」にて発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありませんが、当社は平成25年9月期より会計方針の変更を行ったため、「サマリー情報 3. 平成25年9月期の連結業績予想（平成24年10月1日～平成25年9月30日）」は、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の対前期、対前年同四半期増減率を記載しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

従来、販売費及び一般管理費に計上していた販売促進費の一部について、当第1四半期連結会計期間より、売上高から控除する方法(純額表示)に変更いたしました。

当該会計処理の変更は、会計制度委員会研究報告第13号「我が国の収益認識に関する研究報告(中間報告)」の公表を契機として、リベートの性格などを再検討した結果、販売促進費の一部は販売価額の減額、売上代金の返金という性格を有すると考えられることから、経営成績をより適切に表示するために行ったものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の売上高、販売費及び一般管理費はそれぞれ632百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。



3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,995	1,792
受取手形及び売掛金	5,782	7,266
商品及び製品	2,802	2,729
仕掛品	1,746	1,721
原材料及び貯蔵品	649	704
その他	516	504
貸倒引当金	<u>△41</u>	<u>△50</u>
流動資産合計	<u>13,451</u>	<u>14,667</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,030	7,030
その他(純額)	3,526	3,561
有形固定資産合計	<u>10,557</u>	<u>10,592</u>
無形固定資産		
のれん	3,570	3,500
その他	359	360
無形固定資産合計	<u>3,930</u>	<u>3,861</u>
投資その他の資産		
その他	<u>1,556</u>	<u>1,466</u>
貸倒引当金	<u>△444</u>	<u>△438</u>
投資その他の資産合計	<u>1,112</u>	<u>1,028</u>
固定資産合計	<u>15,600</u>	<u>15,481</u>
繰延資産	10	7
資産合計	<u>29,063</u>	<u>30,156</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,429	2,814
短期借入金	12,426	12,601
1年内返済予定の長期借入金	489	485
1年内償還予定の社債	1,044	1,044
未払法人税等	110	136
賞与引当金	111	89
その他	1,833	2,038
流動負債合計	18,445	19,211
固定負債		
社債	142	142
長期借入金	1,833	1,714
退職給付引当金	317	293
その他	633	662
固定負債合計	2,928	2,814
負債合計	21,373	22,025
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,773	2,773
資本剰余金	7,719	7,719
利益剰余金	△2,409	△2,043
自己株式	△376	△376
株主資本合計	7,707	8,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5	△3
繰延ヘッジ損益	△23	55
為替換算調整勘定	10	6
その他の包括利益累計額合計	△17	58
純資産合計	7,689	8,131
負債純資産合計	29,063	30,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	7,739	7,883
売上原価	5,395	<u>5,511</u>
売上総利益	2,344	<u>2,371</u>
販売費及び一般管理費	1,878	<u>1,767</u>
営業利益	465	<u>604</u>
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	0	0
為替差益	17	15
持分法による投資利益	17	19
貸倒引当金戻入額	<u>35</u>	<u>3</u>
その他	<u>9</u>	<u>18</u>
営業外収益合計	83	<u>61</u>
営業外費用		
支払利息	104	105
その他	21	<u>19</u>
営業外費用合計	125	<u>124</u>
経常利益	423	<u>541</u>
特別利益		
投資有価証券売却益	24	—
特別利益合計	24	—
特別損失		
減損損失	55	—
事業再編損	—	3
その他	0	0
特別損失合計	56	3
税金等調整前四半期純利益	392	<u>537</u>
法人税、住民税及び事業税	22	<u>80</u>
法人税等調整額	196	91
法人税等合計	218	<u>172</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	173	<u>365</u>
少数株主利益	—	—
四半期純利益	173	<u>365</u>

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	173	<u>365</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	1
繰延ヘッジ損益	△13	78
為替換算調整勘定	0	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△7	76
四半期包括利益	165	<u>442</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165	<u>442</u>
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(訂正前)



## 平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 2538 URL http://www.j-fla.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 武司  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務計画部長 (氏名) 杉 義継 (TEL) 06-6444-5293  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	7,883	1.9	589	26.6	518	22.4	344	99.1
24年9月期第1四半期	7,739	△0.7	465	△25.9	423	△23.4	173	△54.0

(注) 包括利益 25年9月期第1四半期 421百万円(155.0%) 24年9月期第1四半期 165百万円(△50.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	5.32	—
24年9月期第1四半期	2.67	—

(注) 当社は平成25年9月期より会計方針の変更を行ったため、平成24年9月期については当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第1四半期	30,329	8,300	27.4
24年9月期	29,239	7,879	26.9

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 8,300百万円 24年9月期 7,879百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	—	—	0.00	0.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月期の期末配当予想額については、未定であります。

## 3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,900	1.8	460	△5.9	250	△21.8	50	154.6	0.77
通期	27,000	2.6	680	17.5	260	3.7	50	—	0.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年9月期より会計方針の変更を行ったため、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の対前期、対前年同四半期増減率を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年9月期1Q	68,004,520株	24年9月期	68,004,520株
② 期末自己株式数	25年9月期1Q	3,244,859株	24年9月期	3,244,659株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年9月期1Q	64,759,683株	24年9月期1Q	64,760,583株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・配当については、業績に応じた適正な利益還元を行うことを基本方針とし、企業体質の一層の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実等を勘案して決定しております。現時点においては事業環境に不透明な要因が多いことから配当予想額を未定としておりますが、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10



## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内の企業生産活動や個人消費は緩やかに回復傾向にあるものの、欧州の財政不安、日中関係の悪化、デフレの長期化等の懸念される事項も多く、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、既存顧客の深耕、新規顧客・チャネルの開拓、積極的な新商品の導入等を図り、収益力の向上に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,883百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は589百万円(前年同期比26.6%増)、経常利益は518百万円(前年同期比22.4%増)、四半期純利益は344百万円(前年同期比99.1%増)となりました。

また、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計方針の変更)」に記載のとおり、従来、販売費及び一般管理費に計上していた販売促進費の一部について、当第1四半期連結会計期間より、売上高から控除する方法(純額表示)に変更いたしました。なお、当該会計方針の変更は遡及適用され、前年同期増減率については遡及適用後の数値にて記載しております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(食品類・酒類事業)

醤油につきましては、家庭用は主力商品のマルキン忠勇「こいくちしょうゆ1Lペット」を中心に主要ルートでの特売・企画提案を積極的に進めたこと等により売上が増加しました。業務用は、外食市場の低迷や大手取引先の内製化への移行等の影響により売上が減少しました。

つゆ・たれ類につきましては、外食市場の低迷により業務用は不調でしたが、家庭用商品のマルキン忠勇「よせ鍋だし 4倍希釈400ml瓶」「醬の郷小豆島から すきやきのたれ500mlペット」「極淡白だし1Lペット」盛田「すき焼わりした500mlペット」加賀屋醤油「ごまドレッシングゆず果汁入り500mlペット」等が好調に推移したことにより売上が増加しました。

その他調味料につきましては、有機関連の差別化商品である盛田「有機純米料理酒500mlペット」「有機みりんタイプ500mlペット」が堅調に推移したものの、主力商品である盛田「料理酒1Lペット」「醸造みりんタイプ1Lペット」が苦戦したこと等により売上が減少しました。

漬物につきましては、新商品のマルキン忠勇「酒かすで漬けました。」シリーズ(4品)や付加価値商品である「小茄子の辛子漬120g袋」が好調に推移し、またペースト漬物商品が新規開拓により着実に伸ばしたものの、市場の縮小及び低価格化の影響等により売上が減少しました。

飲料につきましては、新商品としてハイピース「アップルシナモンティー350mlペット」「あずき茶ココナッツ350mlペット」を発売し順調に推移しておりますが、PB商品の落ち込み等により売上が減少しました。

酒類につきましては、清酒は、主力商品の盛田「尾張常滑郷の鬼ころし2Lパック」「尾張男山2Lパック」等の経済酒において、販売価格条件の見直し(抑制)をしたこと等により売上が減少しました。清酒以外では、盛田「蔵出し 本みりん1.8Lペット」が新規顧客開拓等により売上が伸びました。

この結果、当事業の売上高は4,283百万円(前年同期比3.9%減)、セグメント利益(営業利益)は176百万円(前年同期比9.7%増)となりました。

(輸入食品類・酒類販売事業)

業務用食材につきましては、米国産キャビアや和食用加工専門店への鴨肉販売の増加、問屋取引の強化及び婚礼場の開拓等により売上及び利益が大きく増加しました。また、新規需要としてコンビニ商品に高額商品が採用され、さらに新規オープンの都内ホテルやチェーンフレンチレストランの新規店から大口の受注に成功しました。

製菓用食材につきましては、コンビニ用スイーツ市場へのクリームチーズ拡販を目的にした大手洋菓子製造会社の開拓が進みユーザー増加に成功、大手製パンメーカールートも開拓し売上が増加しました。また、洋菓子専門店用のフランス産プレミアムチョコレートを導入し、チョコレートの拡販活動を開始しました。

小売用商品につきましては、主力商品であるボンヌママブランドのジャムは、大手卸店との取組強化により取引店舗数を伸ばしました。また、フランス産「ラ・ペルーシュ」の角砂糖に対して、認知度を高めるために導入した100gパッケージ及びお徳用750gの販促を行い売上が伸びました。

ワイン類につきましては、主力商品である「ボランジェ」「シャンソン」「アヤラ」は、円高メリットを活かした販路拡大を行い好調に推移しました。また、積極的に導入を進めてきた中低価格帯商品も順調で、イタリアワイン・チリワインの導入もあり売上が増加しました。

この結果、当事業の売上高は3,231百万円(前年同期比9.1%増)、セグメント利益(営業利益)は274百万円(前年同期比37.5%増)となりました。

(水産品加工販売事業)

㈱イメックスにつきましては、長崎産魚フィレが堅調に推移し、また新商品の海老を使用した加工品が売上が大きく伸びました。しかし、主力商品の「ラングスティージュ」は、高級外食市場の低迷等により売上が減少しました。

㈱ブルーゲイツにつきましては、外食・中食チェーンに対する食材・調味料を含めたメニュー企画、商社・大手問屋への商品企画等の一括提案型営業をより一層進めてきたこと等により売上及び利益が増加しました。

この結果、当事業の売上高は360百万円(前年同期比16.3%増)、セグメント利益(営業利益)は8百万円(前年同期比15.8%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金が203百万円減少し、受取手形及び売掛金が1,484百万円増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ1,217百万円増加し、14,692百万円となりました。固定資産は、のれんが70百万円、繰延税金資産が71百万円減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ123百万円減少し、15,629百万円となりました。その結果、総資産は前連結会計年度末に比べ1,090百万円増加し、30,329百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、支払手形及び買掛金が396百万円、短期借入金が175百万円増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ782百万円増加し、19,214百万円となりました。固定負債は、長期借入金が118百万円減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ113百万円減少し、2,814百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純利益344百万円により利益剰余金が増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ421百万円増加し、8,300百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、今後も厳しい状況が続くものと予想しております。このような事業環境の中、既存の食品事業領域における着実な成長と、経営の効率化により財務体質の健全化を図ってまいります。

なお、平成24年11月9日付「平成24年9月期決算短信」にて発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありませんが、当社は平成25年9月期より会計方針の変更を行ったため、「サマリー情報 3. 平成25年9月期の連結業績予想（平成24年10月1日～平成25年9月30日）」は、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の対前期、対前年同四半期増減率を記載しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

従来、販売費及び一般管理費に計上していた販売促進費の一部について、当第1四半期連結会計期間より、売上高から控除する方法(純額表示)に変更いたしました。

当該会計処理の変更は、会計制度委員会研究報告第13号「我が国の収益認識に関する研究報告(中間報告)」の公表を契機として、リベートの性格などを再検討した結果、販売促進費の一部は販売価額の減額、売上代金の返金という性格を有すると考えられることから、経営成績をより適切に表示するために行ったものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の売上高、販売費及び一般管理費はそれぞれ632百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,995	1,792
受取手形及び売掛金	5,786	7,271
商品及び製品	2,802	2,729
仕掛品	1,746	1,721
原材料及び貯蔵品	649	704
その他	516	504
貸倒引当金	<u>△22</u>	<u>△31</u>
流動資産合計	<u>13,474</u>	<u>14,692</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,030	7,030
その他(純額)	3,526	3,561
有形固定資産合計	<u>10,557</u>	<u>10,592</u>
無形固定資産		
のれん	3,570	3,500
その他	359	360
無形固定資産合計	<u>3,930</u>	<u>3,861</u>
投資その他の資産		
その他	<u>1,545</u>	<u>1,452</u>
貸倒引当金	<u>△279</u>	<u>△276</u>
投資その他の資産合計	<u>1,265</u>	<u>1,176</u>
固定資産合計	<u>15,753</u>	<u>15,629</u>
繰延資産	10	7
資産合計	<u>29,239</u>	<u>30,329</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,422	2,819
短期借入金	12,426	12,601
1年内返済予定の長期借入金	489	485
1年内償還予定の社債	1,044	1,044
未払法人税等	110	134
賞与引当金	111	89
その他	1,825	2,037
流動負債合計	18,431	19,214
固定負債		
社債	142	142
長期借入金	1,833	1,714
退職給付引当金	317	293
その他	633	662
固定負債合計	2,928	2,814
負債合計	21,359	22,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,773	2,773
資本剰余金	7,719	7,719
利益剰余金	△2,219	△1,874
自己株式	△376	△376
株主資本合計	7,897	8,242
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5	△3
繰延ヘッジ損益	△23	55
為替換算調整勘定	10	6
その他の包括利益累計額合計	△17	58
純資産合計	7,879	8,300
負債純資産合計	29,239	30,329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	7,739	7,883
売上原価	5,395	<u>5,523</u>
売上総利益	2,344	<u>2,360</u>
販売費及び一般管理費	1,878	<u>1,771</u>
営業利益	465	<u>589</u>
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	0	0
為替差益	17	15
持分法による投資利益	17	19
その他	<u>45</u>	<u>19</u>
営業外収益合計	83	<u>58</u>
営業外費用		
支払利息	104	105
その他	21	<u>23</u>
営業外費用合計	125	<u>128</u>
経常利益	423	<u>518</u>
特別利益		
投資有価証券売却益	24	—
特別利益合計	24	—
特別損失		
減損損失	55	—
事業再編損	—	3
その他	0	0
特別損失合計	56	3
税金等調整前四半期純利益	392	<u>515</u>
法人税、住民税及び事業税	22	<u>78</u>
法人税等調整額	196	91
法人税等合計	218	<u>170</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	173	<u>344</u>
少数株主利益	—	—
四半期純利益	173	<u>344</u>

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	173	<u>344</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	1
繰延ヘッジ損益	△13	78
為替換算調整勘定	0	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△7	76
四半期包括利益	165	<u>421</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165	<u>421</u>
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。